

会 議 録

会 議 の 名 称	第 2 回 所 沢 市 文 化 芸 術 推 進 会 議
開 催 日 時	平成 3 1 年 1 月 2 3 日 (水) 午前 9 時 3 0 分 から 午前 1 1 時 0 0 分 まで
開 催 場 所	所 沢 市 役 所 高 層 棟 3 階 3 0 1 会 議 室
出 席 者 の 氏 名	宍 戸 健 司 正 嘉 昭 嶋 本 桃 子 石 田 尚 子 富 井 大 裕 成 沢 富 雄 竹 田 香 子 我 妻 英 大 久 保 玲 子 中 村 治 雄
欠 席 者 の 氏 名	なし
説 明 員 の 職 ・ 氏 名	なし
議 題	(1) 文 化 芸 術 に 関 す る 施 策 (平 成 3 0 年 度) に つ い て (2) 所 沢 市 文 化 芸 術 振 興 ビ ジ ョ ン 基 本 方 針 II (文 化 で 魅 せ る) に つ い て (3) そ の 他
会 議 資 料	・ 会 議 次 第 (資 料 1) 平 成 3 0 年 度 第 1 回 庁 内 連 絡 会 議 で 出 さ れ た 意 見 等 (抜 粋) (資 料 2) 「所 沢 市 民 文 化 セ ン タ ー ・ ミ ュ ー ズ 改 修 工 事」 の 実 施 に つ い て (資 料 3) 「と ころ ざ わ ア ー ト の 潮 流」 概 要 (資 料 4) 「引 込 線 2019」 に つ い て
担 当 部 課 名	事 務 局 市 民 部 部 長 川 上 一 人 文 化 芸 術 振 興 課 課 長 吉 田 謙 治 副 主 幹 古 田 晃 一 主 査 堤 健 太 郎 主 任 掛 川 麻 衣 子 市 民 部 文 化 芸 術 振 興 課 電 話 04-2998-9211

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会議成立の報告 ■ 会長あいさつ ■ 会議公開の確認 ■ 配布資料の確認 <p>2 議事</p> <p>宍戸会長が議長となり、進行</p> <p>(1) 文化芸術に関する施策（平成30年度）について</p> <p>前回の会議におきまして「所沢市文化芸術振興ビジョン」の基本方針のⅠについて議論を行いましたので、本日は議事の(2)にあります基本方針Ⅱの「文化で魅せる」がメインとなるかと思いますが、その前にまず議事の(1)について事務局からご説明していただきたいと思います。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●資料1を用いて、前回の会議において説明した今年度の事業予定に追加する事業や第1回庁内連絡会議で出された意見について報告。 ●資料2～4を用いて、文化芸術振興課が所管する業務について報告。
会長	<p>議事(1)について、何か不明な点などはありますか。</p>
委員	<p>意見の中に『若い世代』『若い力』とありますが、若い人たちがイベントを主催し、また、さまざまな世代の間に入ってコーディネーターの役割を果たすという動きが、特に新所沢界隈では盛んで、世代間交流、ともに生きる社会の実現というようなイベントで若い人たちの動きが見えるというのが、ワークショップなどをやる側からすれば非常に心強いと感じています。</p> <p>また、まちづくりセンターなどの掲示板がチラシで埋め尽くされる状況が非常に見られ、かなり広いジャンルで市民が主導した文化芸術のイベントが行われるようになってきたという印象があります。『所沢ブランドの一つとして「みどり」がある』とありますが、もう一つのブランドイメージとして、ベットタウンの中でお互いの住民が横に手をつなぎながら、「市民と市」とでもいうようなイメージが今後出来上がってくる可能性というものを感じています。芸術文化を通じた市民の出会いと交流が盛んになっ</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>てくるとよいと思います。</p> <p>(2) 所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針Ⅱ（文化で魅せる）について</p> <p>ビジョンに定めた3つの基本方針のうち、本日は2番目の「文化で魅せる」につきまして、この方針にマッチする施策がいま行われているのか、巷で行われているか、また、新たな施策のヒントや施策の優先順位など、ご意見等をいただければと考えております。</p> <p>●ビジョン基本方針Ⅱ（文化で魅せる）について説明。 （ビジョンP36、P44、P29）</p> <p>基本方針Ⅱ（文化で魅せる）の実現に向けた事業施策の体系として、1「地域資源」の効果的な活用、2「まち」のイメージアップ、3「所沢ブランド」の確立の3つを挙げておりますが、1と2が3につながるというような読み方ができるかと考えられます。</p> <p>「地域資源」については、自然、みどりといった恵まれた環境、それと、まちに住んでいる人達、これは文化活動が盛んな市民の文化もありますし、アーティストやクリエイターの方々がお住まいになっているという利点もあります。これが、世代間交流、そして次世代へという流れでプログラムを作っていければよい、ということで「地域資源」の効果的な活用をうたっております。</p> <p>また、「まち」のイメージアップは、いろいろと重なる部分がありますが、まず、まちが文化を受け入れられる、受け入れる素地があるということを作れば、という内容だと思っております。文化に寛容なまちの醸成ということです。</p> <p>それと、まち全体を見渡しますと、29ページを開いていただいて、3つのエリアがありまして、エリアごとの特徴を活かすというのもまちのイメージアップにつながるものと考えています。</p> <p>また、文化創造都市の推進については、全国的なそういう動きに参加している自治体がありまして、当市も名乗りをあげてやっていこうというものです。</p> <p>以下、そういったことが実現していきますと、所沢ブランドの確立ということにつながりまして、特に文化の場合は、そこで醸成されたものがそれぞれブランドになり得ますので、それを前面に出していければと。一番わかりやすいものとして、COOL JAPAN</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>FOREST構想による角川の進出により、もともと所沢にはあまりなかったアニメや漫画の文化などを、ある種戦略的にセールスにつなげていきたいと考えている次第であります。</p> <p>以上のことを踏まえまして、1回目の内容であった「文化を楽しむ」と今度予定しています「文化をつむぐ」ともそれぞれ関係していきませんが、今回は「文化で魅せる」、所沢の魅力をどう発信していくかというあたりを議論のテーマにおいてお話しいただければと思います。</p> <p>説明に対するご質問やご意見をいただきたいと思いますので、順番にお願いいたします。</p>
委員	<p>アニメなどの文化で魅せていくという話がありましたが、子どもが中学に入って、急にライトノベルにはまるようになったのですが、よく見ると、角川さんが人気ということで、家の中に角川さんの本が増えています。</p> <p>中学生ってこういうことを考えているんだということがわかってきましたが、すごい勢いです。いまアニメオタクとか増えていて、でも、暗いとかではなくて、普通の子どもなのですが、そのエネルギーに圧倒されます。そのエネルギーがサクラタウンとかそっちの方に向かっていけば、若い世代を呼び込むというのが見えると思います。</p>
委員	<p>ライトノベルは、角川が全体の8割ぐらいを占めています。</p> <p>たしかに、今のご意見は非常にそのとおりで、AKB48にしてもそうですが、オタクのものだけでないですね。</p>
委員	<p>そうなんです。普通の生徒が、普通に。</p>
委員	<p>まったく恥ずかしくもないですし、コソコソってことでもないです。よくわかります。</p>
会長	<p>今の意見について何か。</p>
委員	<p>私のまわりの中学生にもそういう傾向があるのですが、それが高校生くらいになってくると、没入していたことが逆にちょっと恥ずかしくなってくるみたいです。</p> <p>高校生くらいになると、音楽に関心を持っていかれて、洋楽に走る子もいれば、邦楽のJ-POPに走る子もいれば、はたまたK-POPに走るというように、年齢が少しずつ増えていくと、やはりいま</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>まで没入してきたアニメの世界じゃない、という風に男女ともなっていく傾向が多々見られるので。</p> <p>そこは、本当におっしゃっているとおりだと。</p>
委員	<p>年ごとに、それが黒歴史みたいな感じになって…。</p>
委員	<p>そうですね。恥ずかしくなってきた、でも、それを継続して本当にアニメを好きになっている人たちが、少し前の言葉で言うと、「腐女子」とか「オタク」という人で、大人になっても継続して好みとして維持されているということがある。そういう動きをちゃんと見ておいた方がいいかなと思います。</p>
委員	<p>私の子どもも中学生ですが、やはり角川さんのラノベにすごくはまっていて、小遣いでよく本を買ってくるのですが、本屋に一緒に行くと、大学生とか社会人だなという人もラノベの本を見ているので、私としてはもう黒歴史とかではないのかなという気がします。</p>
委員	<p>「サブ」から、「メイン」とまでは言わないですが、認知されているような気はします。</p>
会長	<p>じゃあ、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>所沢に若い人を呼び込むことを考えていったときに、航空公園はものすごく魅力がある場所だと思うんですね。</p> <p>それで、そこで何かイベントを、ということで考えたのは、コミケです。コミケはものすごい人が集まってきましたよね。コミケの人達はごみを持ち帰ると褒められたりもしてますし、そういうイベントを角川さんにも考えてもらったら…。コスプレとか、十分なスペースかなと思います。</p>
委員	<p>コスプレをしている人たちは、3、4年前、自分たちで勝手に来ていて、一時期そういった人たちをよく見かけましたけど、やはり文句が出たのか最近は…。ちょっと異質なので。</p> <p>そういう風にイベントにしてしまえば、いいんでしょうね。</p>
委員	<p>そうですね。渋谷のハロウィンとかは、コスプレしたまま電車に乗ってますけどね。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	何かご意見ありますか。じゃあ、次の方。
委員	<p>新所沢で、美術や演劇をやっている人で、実際は経済的な収入をヘルパーなどで得ている人が結構多いんですが、そういう生きていくためのベースとして福祉的な支えがある中で、障害者の人と何かやっていくということが結構やられていると感じています。だから、新所沢というまちが、わりと道が広くて、高い建物がそれほど無くて、広い空みたいなところの中でそういう活動が行われているというのが面白いと思います。</p> <p>また、中央公民館で活動しているのですが、あそこはまちの中に100mくらいの高いビルが結構あります。また、退職した人たちがたくさん集まってサークル活動などをやられています。退職者が溜まって、この人たちがいなくなったらどうなっていくのだろうかと思っているのですが、そういうところで、先日、まちに出ると、ビルの陰に煌々と月が出ているとか、新しい風景みたいなものがあるって、そういうのを見ていると、すでにその中にいろいろな生きていくことといろいろな人の活動みたいなものが醸し出されている何かがあるって、その中で、それをどういう風にクローズアップしていくのか、魅せていくのか、言葉にしていくのか、とか思います。</p> <p>若い人がどうやって生きていくのかということは、とても切実な問題なので、社会の中でどういう風に自分が生きていったらいいのかということを経験していろいろな情報で自分の頭の中を組み替えて対応することで、そういう中で、例えば、コスプレであったり、いろいろな活動が出てきているのだと思います。そういうことをどうやって受け止めていくのかということが、地べたで生きていく感じの人間の活動をどうクローズアップしていくのかということにつながっていく気がします。</p>
会長	何かご意見ありますか。じゃあ、次の方。
委員	<p>まず、前回の会議の話になりますが、「酒場」「お酒」という言葉がこういった会議の中で出るということが、なかなか無いというか、所沢らしいなと思いました。</p> <p>今回については、まず、ライトノベルとかの角川さんが所沢に来るのは面白いことだと思いました。そういったコアなものが一個できるというのが非常に重要なことで、ひょっとしたらそれに反対する人もいるかもしれないですが、反対するというのも意見が出るということなので、活性化の一個だと思います。そういう</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>意味でとてもいいことだと思います。</p> <p>引込線の関係で、航空公園や所沢のまちをたまにぶらぶらします。遠くからいろいろな方が来て、その中には初めて来る方も多かったのですが、そういった方たちにまちの印象を聞くという意味で。</p> <p>それで私が思うことは、航空公園を歩いていると普通に面白いですよね。いきなり飛行機とかありますし。基地に関しては、住まわれている方のいろいろな思いがあるでしょうが、やはり基地がある状況というのも考えさせられてしまう。そういう意味でいろいろと考えさせられるまちだと思います。しかも、それが狭いと、例えば、横須賀みたいにゴリゴリだと、重厚なイメージになりますが、意外と開けているじゃないですか。基地と言っても異様に開けているので、風景自体が広々していると、関係ない人間がぱっと来たときに気持ちよくも見えるわけですよね。気持ちよくも見えるけれど、なぜこういう空き地があるのか、なぜ基地なのか、いろいろなことを考えてしまう。いやな気分じゃない形で、そういったことを考えられる稀有なまちだと思います。</p> <p>そういったまちに来てもらう呼び水として、いろいろな立場のものが混在しているというのはいいことだと思います。</p> <p>角川があったり、市民イベントがあったり、音楽祭があったり、引込線という少しマニアックなものがあったり。そういったものが変に混じらずに、混在するのが受け入れられるフィールドになっているのが、この所沢の魅力かと思っています。</p> <p>それを、それぞれの歴史的意義を踏まえてどうやって広報するのかということがすごく重要で、広報の仕方というのが、そういういろいろなイベントをつなぐやり方なのかと思っています。そこは、イベントをやる側としてみなさんと相談させてもらい、歴史的意義をどのようにわかりやすく伝えていくかを考えたテキストをみなさんにお伝えすることができるかと思っています。</p> <p>先ほどコミケの話がありましたが、私は、コミケを所沢の公園でやるのはあまり効果的じゃないと思います。どうしてかというと、昔、コミケの聖地と言われるビックサイトでバイトをしていたのですが、あれをやると、彼らは、そのときだけやって来て、そこだけしか見ないので、あまり意味がないです。</p> <p>それであれば、そういったものをもうちょっと離れた場所でやって、歩いて見てもらったらいいのではないかなと。どうしてかかというと、住まわれている方からすると普通だと思うかもしれませんが、いま言ったとおり、なかなか面白い場所だと思います。普通に公園があって、飛行機がある中で子どもが遊んでいて、部分的にイベントが行われている。それってなかなかいいなって。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>それがコミケみたいにドカッと一個の大きなかたまりになってしまうと、他の人は入りづらいじゃないですか。それはどうかと思います。局地的に起きているのはすごく入りやすいと思っていて、そういう意味では、角川の近所でコミケがあって、まあ、コミケじゃなくてもいいのですが、何かがあると。そういうときにもスーッと歩けるといのはいいかなと。</p> <p>長くなってすみませんが、最後に、そこでさっきの飲み屋とかの話はとてもいいなと思っています。立ち止まれる場所、例えば、「航空公園で一杯」という話は、引込線の問題でもあって、いつも言われるのですが、航空公園から歩いて行く会場でやった展覧会に、いっぱい外から若い人がやって来るわけですが、航空公園ではなく所沢で飲んでしまう。そこをなんとかしたいです。</p> <p>本当はやった場所で飲むことでそのまちのことがもっと話せるんです。だけど、なかなかそうできない。航空公園に来た、歩いた、こういうまちなんだなっていういろいろ考えた、美術家たちが。そして、展覧会を見た、話した、盛り上がった。そのあと、それをさらにその場所にある飲み屋とかで話すということがあると、もっと別でやって来て何かやってみるか、みたいなことになると思うのですが、そこがないということが、引込線としては、もう一個コアな良さをここで踏み込めないところかなと思っています。ですので、ぜひ飲み屋の誘致を。</p> <p>裏のところとかありますが、いつも混むんですよ。</p> <p>ああいう感じの店が、もうちょっと、情報が出てくると面白いかな、と。</p>
会長	<p>何かご意見ありますか。じゃあ、次の方。</p>
委員	<p>コミケの話が出ましたが、いま、アニメの勢いはものすごいです。先日も、東京ドームで行われたコンサートに2 daysで6万人、ステージの後ろの見えないところでも6,500円。見切り席でもです。</p> <p>このぐらいものすごく勢いがありますが、所沢にはトトロの森ぐらいしかなくて、落合や練馬のようにアニメのベースメントがなくて、宮崎さんぐらいしかいない。</p> <p>電車が全部アニメになっているのが恥ずかしくてしょうがない。もう少し大人の電車になってほしいなども。アニメの勢いを感じると同時に、電車まで迎合する必要はないんじゃないかと思っています。</p> <p>昨日ちょうどNACK5の番組審議委員会が浦和であったのですが、</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>私にとってはNACK5も所沢も「埼玉」という認識はあまりないです。どちらかというとな国区みたいなものの端っこ。そして、向こうから見たら、大宮から見たら、所沢は埼玉の端っこになります。</p> <p>経済圏と文化圏がまるで違います。だから、この前たまたま見た「ケンミンSHOW」というテレビ番組で埼玉を二分割にするべきだと。所沢と大宮と線を引いて、北埼玉・南埼玉なのか、西埼玉・東埼玉なのかはわかりませんが、二分割するべきだという認識がありました。昨日の浦和のNACK5の会議ではやたら「埼玉」「埼玉」「埼玉」と出てきました。ですが、今ここで話を聞いていても、まず「埼玉」という言葉は出てきていない。「所沢」「所沢」「所沢」という認識があって、やはりローカル圏というか、何かが違うのかなど。なにか「東京都の香港」みたいな印象を受けます。</p> <p>やはり、先ほども他の方がおっしゃられたとおり、みんながたむろする場所がないというのが非常に残念です。</p> <p>実は、私のバンドで野外ステージを使おうとしているのですが、非常に使い勝手が悪いのが残念です。どうにか解決できないものかといろいろと算段しています。</p>
会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。いまのご意見についてどうでしょうか。</p>
委員	<p>「都心の香港」っていいですね。使えます。使わせてください。</p>
委員	<p>香港ほどまだカッコよくないですけど。</p>
委員	<p>引込線の意義について、説明をどこかで広報に入れるとしたら、マニアックなところがいいと思うのですが、NACK5もそうですね。引込線にも参加している神奈川の若いアーティストさんは意外とNACK5派です。そういうところなんですよ。</p> <p>そして、やはり何か香港的な、都心なのに、西武文化から直結で行けるのに、都心ではない、みたいな場所です。大箱が、美術館がないけど、広場があって自由なことができたりする。そういう何かインディーなものが集まれる磁力みたいなものが立地的にありますよね。それを推したいという思いがあります。</p>
委員	<p>特区の良さを活かしてね。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>そうです。文化的特区です。</p> <p>そういう文言があると、意外とそこに引っ張られる。「都心の香港」、いいと思います。</p>
委員	<p>いいですね、「都心の香港」。</p>
委員	<p>はい。そして、やはり飲み屋ですね。</p>
会長	<p>では、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>所沢市民には、何か淫靡な空気感というものが実際のところあるのかな、と思います。淫靡な文化というのは特殊な文化でありつつ、都市の文化であったりもするので。私はそういうところに仕事柄出入りしたりもするので、すごくおもしろさは痛感しているのですが、市民の方たちが何を求めているのか、所沢市の文化として、どういう枝を求めているのか、誰も聞いていないし、誰もまとめていないなどすごく感じています。</p> <p>例えば、角川さんがいらっしゃるに当たり、アニメとか漫画とかそういったコンテンツを所沢の文化の顔にするということに対して、所沢の市民の方がどう思っているのか。</p> <p>自分自身も、これを機にちゃんとヒアリングをしたいという思いが改めて出てきています。</p> <p>そして、私自身が考える所沢市の文化というものについて、ディテールはみなさんいろいろとおっしゃっていますが、もう少し具体的な仕組みとか、もう少し目に見える大きな物語として描くべき段階に来ているのではないかなと思います。</p> <p>前回、前々回とお話を伺っていて、所沢市の文化事業がどういう形であるのかということが、私にもだんだん見えてきたところで、やはり主流のいわゆる美術展覧会とか、文化的な大きなイベントとは違う、文化的な潮流があるのではないかと。業界用語になりますが、「オルタナティブ」という言葉があって、ざっくり言うと、主流とは違って、みなさん独自に好きなことをやって、それが「オルタナティブ」というあり方です。そういう「オルタナティブ」な動きが非常に盛んな地域だということをあえて「所沢市はオルタナティブを応援します」と言い切る、そういう顔を見せるということが1つです。</p> <p>それと、もう1つ、地域資源として非常に強いのは、先ほどおっしゃっていたように、航空公園の存在というものが非常に大きいと思います。それは、ビジュアル的にも空間的にも、そして、</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>市民の方たちが実感を持ってとてもいい公園だと思って使っている、そういったところから言っても、非常にブランド価値としてわかりやすく、すでに価値が認識されているものとして、非常に重要なものだと思います。</p> <p>ただ、「みどり」・「自然」に関してのブランドの価値というものは、はっきり言うと、所沢市だけでなく、飯能市とか入間市にも豊富にありますので、そういう意味では、ちょっと吸引力としていまだ弱い。</p> <p>「オルタナティブ」と「みどり」というものに、もうちょっと具体的な物語の要素を脚本として作らなければいけないのではないかなと思ってきています。</p> <p>そこで、私が考えているのが、「IoT」と「野外文化」を結び付けるということです。</p> <p>「IoT」とは、物のインターネット化と言われていて、センサーと通信機能が組み込まれた物があらゆる物とつながることと説明されますが、よくメーカーが言うのが、冷蔵庫にいま何が入っていてその情報が常に自分のところの端末に来て、何が足りないかを伝えるとか、あるいは、誰がどういう動き方をしているから、この所沢市の流入人口についてどういう方たちがどのくらいいるのか、というように、そういったデータをつなぎ合わせていくという話ではあるのですが、実は、その「IoT」のマシンtoマシンでつながっていく情報とは別に、人と人をつなげるということをインターネットでできるという側面もあると思います。そこを所沢はやるという意味で、もう一つのキーワードとして「IoT」というものを挙げたらどうか。おそらくどの行政もIoT時代の野外文化というものをうたっているところはまだないと思うので、そういった物語、要素も必要かなと。</p> <p>そして、所沢の「IoT」をまず最初にどこから手を着けようかと考えるときに、先ほど申し上げた、人と人がちゃんとコミュニケーションできるようなインターネットの使い方、物につながる方法ということで、所沢市が条例として障害者の方たちが住みやすい地方にしようということで、そういう条例を昨年作ったと思うのですが、例えば、目の見えない方たちがあるセンサーを持っていて、所沢市を歩いてみたり、どこかで買い物をする時に、こういうところで困っている、とか、こういう方たちが集まるのはどこなのか、ということ「IoT」の技術を使って吸い上げると。いろいろとリサーチに障害者の方にご協力をいただき、車いすの方たちがどういう風に所沢市内で遊んだり食べたり仕事をしたりいろいろな生活をしているのかということ「IoT」技術を使ってデ</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>一タとしてちゃんと吸い上げて、それをさらに市民の方たちと行政も共有し、所沢市内の企業とどういう形でシステム化して、本当に彼らの生活に役立つ技術に変えていけるか、といったことまで考えていくと、今のはザクツとした話ではありますが、「みどり」、「オルタナティブ」、それと「障害者」と「IoT」の4つのキーワードでもうちょっと具体的な大きな物語を、所沢市全体を作っていくというのがまず必須なのではないか。</p> <p>そこから、じゃあ具体的に「オルタナティブ」のところでどういう文化をみんなそれぞれがやっていくのか。そして、それが他の「みどり」「障害者」「IoT」とどういう風に連携を図っていくのか。そういう風にやっていくと、ちゃんとみんなと同じ方向を向きながら、だけれどもオルタナティブに、そして、未来志向でいろいろなことにチャレンジできるのでないかと感じています。</p> <p>ちょっとザクツとし過ぎてはいますが、そういう段階にもうそろそろ来ているのではないかと思います。</p>
会長	<p>以上のご意見に対して、何かありますか。</p> <p>非常にキーワードを立たしていただいて、わかりやすかったと思います。</p> <p>では、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>私も今お話しに出ていたところともかぶりますが、所沢ブランドというものは、いったいどういうところをイメージしていけばいいのか、ちょっとぼやっとしている感じがしていると思っています。</p> <p>実は、芸術総合高校でも、そのブランドを広く周知するためにいろいろな取組をやっていて、今日みなさんに資料もお配りして、どこと連携してこういう取組をやっていきます、ということを示しているのですが、学校は今年19年目で、来年20周年になりますが、意外に知られていない。県内でも、こういった芸術に特化した高校というのは1校だし、全国的に見ても非常に珍しいタイプの高校です。美術科、音楽科、映像芸術科、舞台芸術科という芸術のジャンルに、教育活動も取り入れてやっているところですが、それを広く知っていただくためには何をやっていけばいいのかということを常に考えながら、芸術総合高校のブランドというものが存在することを校内でも共通理解を図りながらやっています。</p> <p>いずれにしても、私たちのブランドというものは、芸術に特化</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>した高校で、4つの学科を持っていて、さらに将来的に芸術のアーティストになる子もいれば、下支えをするような、本当に草の根的な芸術専攻を親しむ子の育成まで図っているわけですが、そういったところを理解していただくために、いろいろな活動をしている最中です。</p> <p>そして、その活動は、やはり学校だけでやっていてもしょうがないので、いろいろなところと関係を持ちながら、ステークホルダーという横の関係を持ちつつ、一方的なプロモーションではなくて、双方向のwin-winの関係を構築した上での広報活動が大事だと思うわけです。</p> <p>これは、たぶん次回のⅢの産学連携とかそういうところになるのかもしれませんが、とりあえず所沢のブランドというものをある程度形作って、それに応じたキャッチなフレーズというか、そういったものを使いながら広報していくということが必要なのかなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>先ほど物語という単語が出てきて、私もちょっと考えていたのですが、今ある文化に関しての議論がかなり大きいと思うのですが、それ以外に、これからできてくるもの、出てくる文化のほうにもう少し視点を移していったほうが、私たちも長生きするようになるし、寿命が延びていく、働き方が変わっていく、生き方が変わっていくのを見て、もっともっと若い子どもたちがアクティブに文化に触れられるような機会、チャンスのほうが必要なのではないかと私は感じています。</p> <p>特にいま、教育の世界でもアクティブに、「ポジティブ」というよりは自分から自らやろうという「アクティブ」なのですが、授業等もそういう形がいま取られてきています。</p> <p>私が受けた授業といま私がしている授業とはちょっと違ってきてしまっている。そういうところで、いまここでしている会議にプラスアルファで、もっと若い世代がもっとどういうことをしていくのかということを見据えながら、むしろ想像しながらということになるかもしれませんが、もうちょっと長い目で文化、ブランドもそうですが、その構築というものを考えていけると、またいいことが出てくるのかなと私は考えています。</p>
会長	<p>じゃあ、次の方。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>私はどうしても市民による文化芸術活動という視点からの発言になってしまいますが、先年制定された劇場法というものがあります。賛否両論ありましたが、ヨーロッパの文化都市というのはご存知のように劇場を中心とした都市でして、その市民たちは、芸術の享受者であると同時に創造者でもあるというところがすばらしいところです。日本にも劇場を中心とした都市の形成というものを持ち込みたいという願いで劇場法が制定されました。</p> <p>所沢市は、これからそういったあたりを狙っていくのであれば、もっともふさわしいところだと思います。例えば、東京は、すばらしい文化施設、芸術施設はいっぱいありますけれども、そこに暮らす人たちが横の連携を取りながら、例えば、素敵な演奏を聴く会とか、演劇を観る会を住民たちが組織して主催しているわけではない。同時に、その劇場に通って自分もまた音楽を学んだり、演劇をやったりということでもない。これは、郊外における都市こそ、それを可能にしていると思っています。</p> <p>ですから、所沢も、例えば、ミュージアムが新しくなったときにもっともっと市民に開放していく施設概要を整え、その利用法をちゃんと提示し、そして、それを安い料金で活用できるようにして、本当に市民がミュージアムを中心として生活する、祝日を楽しむくらいまで、成長させていってほしいと思います。</p> <p>とはいえ、今できることとして市に提案したいのは、次回のところでたぶん論議が出てくると思いますが、空き家、空き店舗の活用というのがこのビジョンの中のあちらこちらでうたわれていますが、もう一つ、空き公共施設というものはっきりとここで挙げてもらい、そして、先ほどの若者たちの参加の話にもつながると思うのですが、空き家・空き店舗・空き公共施設がどういうところにどういうものがあるのかを明らかにしていってほしいと思います。それを活用することで、少しずつ少しずつ市民による文化活動・芸術活動が活発になるような、そういうサポートをしていただきたいと思っています。</p> <p>享受者であるとともに創造者であるという市民の豊かな生き方というものを所沢で実現していけると私は思います。</p>
委員	<p>実は、和ヶ原商店街というものが狭山ヶ丘にありまして、そこを今年度中小企業庁の「学びと社会の連携促進事業」という事業に絡んで、県の産業労働部と所沢市の商業観光課とタッグを組んで商店街を活性化しようとする。そこに、高校生たちを引き込んでいろいろとアイデアを出させようという取組がありました。</p> <p>そして、私たちの学校にも声が掛かって、実際に美術科の生徒</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>たちを派遣してアイデアを出させていたのですが、やはり美術科の子たちだと空き店舗を利用して展覧会をやりたい、あるいは映像芸術科の子たちを連れてきて映画上映やドキュメンタリーの映像を作るなどいろいろなアイデアが出てきました。</p> <p>そういった取組の中で、所沢市内にも活性化していかなければならない商店街とか、いまクローズしている商店などの活用をうんと図れるのではないかと思います。和ヶ原商店街もその意味で活性化に向けてどうしたらいいのかということを中心に語りあい、困っていたので、そういったところに着目するというのも一つありなのかな、と今話を聞いていて思いました。</p> <p>この会議に参加するに当たって考えていたことと、いまいただいた意見が重なったので、少しだけ意見させていただきたいのですが、もともと引込線の意義としては、外の若い作家が所沢に展覧会のときに、2週間、3週間、4週間とやってくるというところが大きいと思います。それは、引込線自体、その母体になった所沢野外美術展というのがある、それが安保闘争などで発表の場を失ったときに「所沢だ」と言って集まって来て、その作家たちが住み、アトリエを持ち、先生になったり、アーティストとして成功していく中で、もう一回やろうと言って集まった経緯があるからですが、相模原市では、相模原オープンスタジオというのがある、アーティストがアトリエとして空き家とか空き店舗とかを使っていて、20年くらい前からアトリエがどんどん増えています。それをもう一回包括して、展覧会として紹介していくのを相模原はやっています。</p> <p>所沢は、若い作家とかも引込線では来るのですが、例えば、そういう中で、ただやって帰るのではなくて、さっきの飲み屋の話にしてもそうですが、空き家・住居とか、アトリエになりそうなものとか、そういったものの情報を開示していくようなシステムがあれば、引込線自体は、はっきり言ってしまうと、住んでいる作家とかを全部受け入れるとなると、公募展とかと一緒にしてしまうので、そこは切りたいですが、逆に、来た人たち、若い作家たちがここでまた活動を継続できるような情報ソースをしっかりと提供していただければ、そこはそこでまた別の意義というか積極的な展開があるのではないかと。そうすると、香港化していくことにつながっていくのではないかと、その一助になるのではないかなと。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>私も今の話はいいと思います。</p> <p>所沢を外から見たイメージだと、きれいなんですよ。</p> <p>アートというのは、何か反骨であったり、表現であったり、さっきの「淫靡な」な話じゃないですが、横浜だったら黄金町というところはアートのまちになっていますが、あそこはもともと赤線ですから。あとは、川崎だと工場地帯の中がヒップホップの聖地になったりしていますが、きれいなところではないです。汚いからいいという話ではないですが、そういうところだと、まず私たちも歴史を知らなければいけないですし。</p> <p>また、先ほどの話ではないですが、航空公園でなくても、例えば、三富があるのであれば、畑の中でお芝居するとか、そういう風に地元に着したところでできたりしたら、歴史などにも関わりますし、いいのかなという気がします。</p> <p>本当は、さっきのオルタナティブ的なものも支援すると宣言するのも非常にいいと思っていますが、ただ、絶対言えるのは、役所の中で言うことではないですが、全員がいいということは無いということです。むしろ、アートというのはやはり若い人だけわかればいいぐらいの気持ちなので、みんながいいようにするとアートでなくなってしまうと思います。そこは本当に。だから、引込線は本当にすごいと思います。ダークな感じがあるじゃないですか。</p> <p>それに、私が最近思うのは、高齢化社会になってきて、上野に行くとわかるのですが、上野でどの時間帯に一番お客さんが入るかという、平日の昼間です。みんな、60過ぎのおばちゃんとかおじちゃんが、朝から行って並んで、何展でもいいですが、その展示を見て、昼飯を食べて帰っていきます。夕方とかだと、子どもが帰ってきたり、孫が来たりとかするということ。</p> <p>ただ、そういう風に上野がいいところというのは、もちろん美術館とかがたくさんあるからということもありますが、近いんですよね。だから、縄文展を見たら、今度は別の近代美術館に行こうとか、上野の森に行こうとかすぐできるわけです。本当は、ある程度まとまったほうがいいです。今日ここはだめだけど、違う空き家でやっていけばそっちに行ってみよう、というようなことができれば、高齢化社会になって楽しみや余暇が増えてくるので、そういうエリアはすごくいいなと思います。</p>
委員	<p>沢田研二のコンサートが昼間の15時ですよ。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	あれがいいですよ。3時からで、終わったあとに飲みに行け ますから。
委員	それを考えた方がいいと思います。ちょっと話が違いますが。
会長	他にも何かご意見があればおっしゃっていただければと思 いますが。
委員	日芸が空き家になります。 空いてしまって、いわゆる廃墟状態になってしまう。
委員	どこかが活用してくれるとよいですが。
委員	引込線だよ。
委員	そんな話も少し。
事務局	<p>その関係で先ほど空き家のほうのガイドでも作ってほしいとい う話がありましたが、当課としては、そういったアプローチは再 三やっています。それこそ、庁内でけんかになるのではないかと いうくらいに、そういったことについては、いろいろなきっかけ を見つけては、アートもそうですし、そういった使い勝手という ことでは実際に話をしているところです。</p> <p>ただ、耐震の問題もあり、すぐに「はい、どうぞ」とは絶対に 言ってくれないです。ですから、一つ一つクリアしながらやっ ていくしかないと思っています。</p> <p>空き家、空き店舗という、それは、サイズとしては結構小さ いので、そのサイズにあったものとして何かできないかというア プローチになりますし、あとは、引込線は実は今回会場を変える のに非常に難儀しまして、今度の開催は秋ですのでぜひご覧い ただきたいと思いますが、廃園になった幼稚園を何とか使わ せてもらえるということで、ここでやっとその話が出せるよう になりました。</p> <p>けれども、それも次の回にはきっと壊してしまうだろうとい う話の中での許可です。ですので、役所、特に公共施設の廃墟につ いては、耐震がすでにできていないものであれば、お咎めを受け てしまうなどいろいろなルールがありまして、こちらもいろいろ なところに頭を下げながら話をしてはいますが、なかなかうまく いかないというのが現状です。</p> <p>いまちょうど日芸の廃墟化という、失礼ですけども有効利用</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>みたいなものは選択肢に入れさせていただきたいと思っています。</p> <p>多分に努力されているだろうとは私も思っていますし、実際に、所沢の4つの劇団がまとまって市長交渉をすることを通して、次のステップとして生涯学習センターの教室を稽古場所、練習場所に使わせてもらうという方向に出ています。そして、今は廃屋になっている倉庫を大道具・小道具の保管場所に、という提案を受けています。</p> <p>それをいま進めています。私は、まだまだたくさん空いている公共施設があると思っています。ぜひ、空き部屋、空き店舗は難しくても、そのあたりの情報開示をしていただいて、具体的に市民に開放していくための利用方法・活用方法を提示していただきたい。</p> <p>例えば、航空公園の野外ステージはほとんど使われていないです。</p>
事務局	<p>野外ステージは県の施設です。</p>
委員	<p>記念館があつて、ミュージズもあり、緑の中を散歩して、次に行こうかとなったときに、なかなか受け入れる場所がない。野外ステージでさまざまな文化芸術のイベントが行われていたらそちらに足が向くわけですよ。</p> <p>また、西武の8階のホール（事務局注：「ワルツホール」。市の施設ではない。）で私も演劇をやりましたが、あそこも空いています。</p> <p>つまり、いま、既存のもので空いているところをどういう風に活用できるのかということを示して、市民にもっともっと開放してほしいと思います。</p>
事務局	<p>やっていないわけではないことだけは、わかっていたらと思います。</p>
会長	<p>闊達なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に議事(3)「その他」について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>次回の会議の日程についてお伺いさせていただきます。</p> <p>今年度は、今回で終了となりまして、次回は、新しい年度に入りまして、5月頃に開催したいと思いますが、よろしいでしょう</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	か？
委員一同	（了承）
事務局	<p>また、ひと月ぐらい前までには候補日を挙げさせていただきまして、みなさまのご都合をお伺いさせていただき、開催させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>特になければ本日の議事はこれで終了とさせていただきたいと思います。</p>